

(5) 逐次刊行物の収集と整備

利用者の多様な要望に対応すべく、各分野の定評ある雑誌、及び雑誌の復刻版を収集すると共に、本年度は所蔵する官報の欠号を復刻版で補い、明治期については完備した。

また、相互協力事業の一環として、県内公共図書館で継続購入している雑誌の保存分担制度について検討し実施した。

新聞については、地元紙、中央紙等の収集保存に努め、地元紙は、汚・破損防止のため、マイクロフィルム化を行った。

また、郷土関係連載記事のクリッピングを合冊整備し、利用の便を図った。

〔表1〕平成元年度逐次刊行物受入整理状況

(単位：種)

区 分	購 入	寄 贈	計
新 聞	16	57	73
雑 誌	214	782	996
特 許 公 報 類	—	8	8
官 報 等	4	—	4
計	234	847	1,081

〔表2〕平成元年度資料の受入整理状況

(単位：冊)

区 分	購 入	寄贈・他	計
一 般 図 書	6,823	2,182	9,005
郷 土 ・ 行 政 資 料	747	2,624	3,371
児 童 図 書	662	339	1,001
児童図書研究室資料	599	169	768
館 外 用 図 書	3,713	4,178	7,891
計	12,544	9,492	22,036

2 蔵書目録の刊行

直接来館しなくても当館の所蔵資料を調査できるように、冊子目録を刊行し、県内図書館・公民館図書室をはじめ関係機関・施設等に配布した。

この目録は、昭和62年4月から63年3月までの間に増加した一般図書資料約10,400冊を収録したものであり、それまでに刊行した目録と併せて当館所蔵資料のほぼ全容を知ることができる。

第3節 館内奉仕

1 調査相談

「福島県立図書館調査相談業務規程」にその範囲を定め、図書館資料の検索、参考文献の紹介、専門機関等についての情報提供など、利用についての協力援助を行った。

これは、来館した利用者からの依頼と、電話、文書による依頼を受け、各主題によって、郷土、社会、人文、自然、逐次刊行物、児童の各カウンターの担当者が調査し、回答する

ものである。

本年度の調査相談件数は、次のとおりである。

〔表3〕記録された参考質問の分析

(単位：件)

区分	郷 土 資 料	一 般			逐 次 刊行物	小 計	児 童	合 計
		人 文	社 会	自 然				
口 頭	1,239	419	903	791	1,013	4,365	603	4,968
電 話	1,000	372	232	72	387	2,063	92	2,155
文 書	129	16	6	7	6	164	6	170
計	2,368	807	1,141	870	1,406	6,592	701	7,293
		2,818						

2 館内閲覧

郷土資料、一般資料、参考図書、新聞、雑誌、特許公報類など、約10万冊を公開し、利用に供した。

また、利用の便を図るため、次の閲覧目録を備えている。

- ・カード目録……書名、著者名、分類
- ・冊子目録……主題別、郷土、特殊文庫、増加図書

(館内閲覧は自由閲覧制のため利用統計はない)

3 館外個人貸出し

時間的余裕を持っていない人々が、自宅等でゆっくり調査研究(読書)ができる貸出制度で、貸出資料も一部(参考図書、貴重図書など)に制限はあるものの、ほとんどを貸出しの対象としている。

本年度の貸出状況は次のとおりである。

〔表4〕館外個人貸出利用者数

区 分	人 数	構 成 比 (%)
勤 め 人	7,853	39.7
自 家 営 業	1,098	5.5
主 婦	2,336	11.8
無 職	2,142	11.0
学 生 ・ 生 徒	6,360	32.0
小 計	19,789	100
児 童	22,064	—
合 計	41,853	—

〔表5〕館外個人貸出利用図書冊数

分 類	冊 数	構 成 比 (%)	分 類	冊 数	構 成 比 (%)
総 記	1,027	2.0	語 学	552	1.1
哲学宗教	2,530	5.0	文 学	12,339	24.2
歴史地理	5,017	9.9	郷土資料	3,269	6.4
社会科学	9,154	18.0	雑 誌	1,178	2.3
自然科学	4,114	8.1	小 計	50,901	100
工学工業	3,676	7.2	児 童	72,040	—
産 業	2,069	4.1	合 計	122,941	—
芸 術	5,976	11.7			